

『長岡郷土史』 原稿募集要項

令和五年五月二十七日改定

一（刊行予定）『長岡郷土史』は長岡郷土史研究会が原則として年一回発行するものです。

二（体裁）判型B五判、縦書き、二八字×二五行×二段組（一四〇〇字）、基本版面縦二一・八cm×一四・七cm、文字の大きさは一〇・五ポイントです。紙数は二〇〇～二五〇ページを目安とします。

三（編集方針）長岡地域にかかわる論考、資料紹介、本会の活動報告などを掲載し、郷土史に関心を持つ多くの人たちから読まれるように、わかりやすく見やすい編集を目指します。

四（編集体制）長岡郷土史編集委員会（以下編集委員会）は、会長、副会長および編集幹事で構成します。編集委員会事務局（以下事務局）は長岡市歴史文書館内（〒九四〇―〇八四九 長岡市長倉西町四五八―七、TEL〇二五八―三六―七八三二）です。

五（投稿資格）『長岡郷土史』への投稿は原則として本会会員に限定します。ただし、編集委員会からの依頼原稿に関してはこの限りではありません。

六（投稿内容）過去・現在を問わず、長岡地域にかかわる歴史や地理、政治・経済・社会・文化・民俗・風俗などについての自由な論考や資料紹介とします。

七（原稿分量）一編につき図表・写真を含めて一〇ページ以内（四百字詰原稿用紙三〇枚）です。なお、超過した原稿を掲載する場合は、編集委員会の承認が必要となります。

八（図表・写真）基本版面の大きさを考慮して作成してください（折込不可）。

九（投稿手続き）紙数に制限があるため、投稿希望者はあらかじめ事務局に表題・執筆者名・ページ数を申し出てください。申し出のあった投稿希望者には事務局から執筆要項を送付しますので、それに従って原稿を作成し、原稿は事務局に提出してください。

十（原稿受付後の処理）投稿原稿については編集委員会で事前に審査します。原稿の採否、掲載の順序などは編集委員会に一任ください。

十一（校正）執筆者の校正は再校までとさせていただきます。三校以降は事務局が行います。

十二（締め切り）第六十二号の締め切りは令和六年十二月末日です。

十三（その他）執筆者には刊行した『長岡郷土史』を二部寄贈します。